

所 属	教育委員会事務局社会教育課
所属長	松田 陽子
電 話	06-4950-0405

尼崎市人権・同和教育研究協議会主催「人権マンガ」入賞者の表彰式について

尼崎市教育委員会と連携し、人権教育・啓発に関する様々な取り組みを行っている「尼崎市人権・同和教育研究協議会」が、多様性を認め合い、一人一人の人権を大切にする社会をつかっていくために、みんなに伝えたい想いや互いに人権を尊重する気持ちをマンガで表現した作品を募集しました。

小学2年生から一般の方まで、74作品の応募があり、その作品の中から選出された、入賞者（教育長賞・奨励賞）の表彰式を次のとおり行います。

入賞作品は、尼崎市人権・同和教育研究協議会が発行する広報紙への掲載や、作品の展示会を行うなど、人権啓発を目的に広く発信します。

「尼崎市人権・同和教育研究協議会」とは

さまざまな人権課題の解決に向けて、学校教育機関と社会教育関係団体等が連携して人権問題の学習会や啓発活動等を行っています。

就学前教育部（保育所・幼稚園）、小学校教育部、中学校教育部、高等学校教育部、PTA部、社会教育部の6つの専門部で組織されています。



教育長賞

1 表彰式の概要

(1) 日 時

令和3年3月1日（月） 16:45 ～17:15

(2) 場 所

尼崎市教育・障害福祉センター3階 教育委員会室

(3) 表彰式

・教育長賞（1名） ・奨励賞（3名）

2 入賞作品

賞	名前	タイトル	作品の簡単な説明
教育長賞	安井 友萌 常陽中2年	言葉の力	言葉の持つ陰と陽の力を表現しました
会長賞	富永 愛那 大成中1年	うわさを信じずに	人のうわさをうのみにせず自分の心の目でみる大切さ
奨励賞	佐野 裕芽乃 尼崎双星高2年	”パレット”な街	人を見かけで判断してほしくない。多くの人が堂々と自分らしさを出して楽しく過ごしてほしいと思い、私の理想の街を描きました。
奨励賞	玉井 次美 小田中3年	感謝の気持ち	コロナの時期における医療の方々への感謝の気持ちを込めて描きました。
奨励賞	荒木 優里 園和小6年	私は私	性別、見た目関係なく、自分らしく自信を持って生きたい気持ちを書きました。
他〇〇賞	(希望があるで賞等) 14点を選出		